

各認知症の特徴とBPSD

	アルツハイマー型認知症	血管性認知症	レビー小体型認知症	前頭側頭型認知症
男女比	女性に多い	男性に多い	男性に多い	性差なし
発症年齢	70歳前後	60歳代で発症	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多い ・40歳代でも発症する可能性もあり 	初老期に発症することが多い
初期症状	物忘れ	物忘れ	幻視、妄想、うつ	人格・情緒障害
特徴的な症状	認知障害、物とられ妄想徘徊、まとまりのない話意味のない作業	認知障害、手足のしびれ麻痺、せん妄、感情の制御困難	パーキンソン症状、幻視認知の変動、睡眠時の異常行動、認知障害	人格変化、自発性低下、異常行動（浪費、過食、窃盗など）
経過	緩やかに進行	段階的に進行	緩やかに進行 (経過が早い場合もある)	緩やかに進行
脳の変化	海馬の委縮がみられる	梗塞などがみられる	海馬の委縮が少ない	前頭側頭葉の限局性萎縮
BPSD	アパシー、易刺激性(些細なことで怒る)興奮、暴力、拒絶、介護への抵抗、妄想、徘徊、夕暮れ症候群	アパシー、抑うつ、注意障害、病態失認、無頓着、夜間せん妄、昼夜逆転、幻覚妄想	幻視(人物、小動物、虫など)物体・人物・場所誤認、被害妄想、アパシー、易刺激性、異常行動、抑うつ	脱抑制・わが道を行く行動、常同行動、食行動異常、嗜好の変化(甘いものばかり食べるなど)、多幸